財団法人ソニー音楽芸術振興会

平成 22 年度 事業計画書

（2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日）

Ⅰ．方針

当財団の平成 22 年度事業は、過去 25 年間の実績を基に、より積極的な活動を多角的に展開することによって一層、社会的評価を高めるべく努力致す所存です。また、当年度もソニー株式会社、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント等から寄付金を受ける予定です。

II. 事業

１．国際的フェスティバル、コンクール等の開催及び協力

（１）「第１０回国際オーボエコンクール」の開催は２０１２年度を予定。

２．音楽、オペラ、舞踊等の創造開発及び協力

（１） 子どもたちの感性を高めるプロジェクト

【1】子どもたちに贈るスペシャル・コンサートシリーズ～vol. 7

【公演事業】

2004 年より始まった Sony Music Foundation スペシャル・コンサート・シリーズの７回目となる公演です。これまでにニューヨーク・フィル、ベルギー王立歌劇場（モネ劇場）、パリ・シャトレ座、イ・ムジチ合奏団、ウィーン・トーンキュンストラー管弦楽団、ファジル・サイ、フランス国立リヨン歌劇場管弦楽団など、世界に名だたる演奏団体・演奏家たちによる公演を開催してまいりました。

本年度も、世界的に活躍する演奏家を招いての演奏会やワークショップなどを開催する予定です。
【日程及び会場】
２０１０年１０～１１月（予定）

【2】「Ｃｏｎｃｅｒｔ ｆｏｒ ＫＩＤＳ～0才からのクラシック®～」「Ｃｏｎｃｅｒｔ ｆｏｒ ＫＩＤＳ～3才からのクラシック®～」の開催

【公演事業】

「生まれた赤ちゃんにも生のクラシックを聴かせたい」、「ぜひ生まれた子供と一緒に聴けるコンサートに行きたい」というお客さまの声から 1998 年に誕生した、未就学児とその家族を対象としたクラシック・コンサートです。
出演者はピアノ、ヴァイオリン、チェロ、トロンボーン、ハーモニカ、マリンバ、弦楽カルテット、オペラ歌手や童謡歌手など多岐に渡り、地域やホールに合わせ、さまざまな内容構成で開催しています。

【日程及び会場】２０１０年～２０１１年

４月２９日（木・祝）	［東京都］	ホテルニューオータニ
５月１６日（日）	［東京都］	港区赤坂区民センター　（２公演）
６月１９日（土）	［東京都］	サントリーホール　小ホール（２公演）
７月　７日（水）	［東京都］	旧東京音楽学校奏楽堂
８月　８日（日）	［神奈川県］	青葉台 フィリアホール
８月２２日（日）	［福岡県］	北九州市立 響ホール　（２公演）
９月　４日（土）	［埼玉県］	朝霞市民会館
１１月２７日（土）	［東京都］	なかの ZERO 大ホール

その他、［北海道］たかすメロディーホール、美深町文化会館ＣＯＭ１００、「群馬県」太田市藪塚本町文化ホール他数ヶ所、計１７公演程度開催予定

【3】「0才まえのコンサート®ーママのおなかは特等席ー」の開催

【公演事業】

“人間の知能・情操は生まれるまえから育まれ得る”と言う前提のもとに、生の音楽演奏の場で、妊娠している母親が音楽体験することにより、深い感動と喜びがお腹のなかの赤ちゃんにも共感できるのではないか、という発想から企画されたユニークなコンサートです。1985年にスタート、現在までに150回以上、全国30カ所以上で開催しております。
出演者はドイツを中心に活躍する天羽明惠（ソプラノ）、オペラ歌手として注目の高い林美智子（メゾ･ソプラノ）、東京都交響楽団首席奏者の古川展生（チェロ）、オーケストラとの共演やリサイタルなどで活躍している戸田弥生（ヴァイオリン）、邦楽界では次世代のトップとして活躍する藤原道山（尺八）と小宮瑞代（箏）、国内外で活躍するハープ･デュオ、篠﨑史子・篠﨑和子など、幅広く、質の高い演奏家と楽曲で企画しております。
このコンサートは、妊娠安定期（６カ月から９カ月）の妊婦さんのために、細心の注意を払った様々な工夫が凝らされています。奏者の出産・子育て経験談や作曲家にまつわるエピソードなど、リラックスできるトークを取り入れながら進行。またカップルや家族で外出しやすい土・日の午後に開催、そして専門家による分かりやすいお話など、好評を博しています。来場者の大半が、お腹の中の赤ちゃんとパパとママなのも大きな特徴です。

【日程及び会場】２０１０年～２０１１年

６月１３日（日）	［東京都］	HAKUJU HALL
８月　８日（日）	［神奈川県］	青葉台フィリアホール　他全４公演予定

【4】Dream Seats　プロジェクト　【公演事業】

Dream Seats は、NHK 交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団から年間 10 回の定期公演を各 10 席、小学校から高校生までの青少年とその保護者へ安価に販売し、子ども向けに作られた公演ではなく、大人と一緒に通常の音楽会を楽しんでもらうために提供している企画です。オーケストラ公演に加えて、器楽やオペラ公演などもその都度、条件に合った公演を案内し、Dream Seats メンバーズには「子ども音楽新聞」を定期的に発行し、音楽や演奏家、作曲家についての豆知識を事前に案内、音楽や作曲家に興味を持ってもらい、演奏会に出かける日までのモチベーションを高めることと、興味を持続させることを目的としています。

（2）“Great Artist Series“の開催　【公演事業】

当シリーズは世界的に実力第一級のアーティストによる、商業ベースに左右されることのない、貴重な公演を提供しようとするシリーズです。

【日程及び会場】未定

3．芸術家の研鑽に対する助成

（1）第９回 齋藤秀雄メモリアル基金賞　【特別事業】

2002 年度（平成 14 年度）に創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」はチェリスト・指揮者・教育者として高名な故・齋藤秀雄（1902-1974）氏に因むものです。2000 年 3 月 17 日に齋藤秀雄氏未亡人・齋藤秀子氏が 90 歳で逝去され、氏の遺言公正証書第参条に「財団法人ソニー音楽芸術振興会は、遺贈された財産で振興会の中に『齋藤秀雄メモリアル基金（仮称）』を設け、この基金により若手チェリスト、指揮者の発掘、育成を目的とした顕彰制度を実施して下さい。」と記載がありました。これは、その十数年前、同家の資産運用の相談を受けた当財団理事長・大賀典雄が同家の資産を買取った経緯があり、そのことに因ると思われます。
齋藤秀子氏の遺言執行者である中央三井信託銀行から当財団に、306,483,968 円の遺贈金が寄せられました。
当財団理事会、評議員会で審議の上、齋藤秀子氏の生前の希望により、大賀が

小澤征爾（指揮者）氏、堤剛（チェリスト）氏とも協議した結果、この遺贈金は「齋藤秀雄メモリアル基金」として運用、この基金の利息収入により「齋藤秀雄メモリアル基金賞」を授与することが決定しました。

当賞の内容は下記の通りです。

① 名称
「齋藤秀雄メモリアル基金賞」

② 選考対象
- 音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される、若手チェリスト、指揮者。
- チェリストと指揮者を各々１年に１人顕彰することを原則とする。但し、適切な該当者がいない場合は顕彰しない。

③ 選考方法
音楽関係者からの意見等を参考に、選考委員会で、選考委員が候補者を選出し、全員で選考の上、受賞者を決定する。
選考委員会は、顕彰年の上半期に開催することを原則とする。

④ 選考委員の選定
齋藤秀子氏が生前、大賀典雄に口頭で伝えた希望により、選考委員・選考委員長は下記の通りとする。
委員長：大賀 典雄
（指揮者・ソニー株式会社相談役・財団法人ソニー音楽芸術振興会理事長）
委　員：小澤 征爾 氏（指揮者）
堤 剛 氏（チェリスト）
（注）選考委員に欠員が生じた場合には、財団法人ソニー音楽芸術振興会の理事会・評議員会に於いて、後任を定める。

⑤ 賞
・楯
・賞金　　総額 1,000 万円（1 人 500 万円）

⑥ 受賞者発表時期、方法
顕彰時期を考慮して、当該年毎に適切な発表時期を定める。
受賞者はマスコミに公表し、当財団ホームページでも公表する。

⑦ 顕彰時期
当該年毎に適切な時期を定める。

⑧ 主　　催：財団法人ソニー音楽芸術振興会（Sony Music Foundation）
特別協力：財団法人サイトウ・キネン財団
サイトウ・キネン・フェスティバル松本実行委員会

（2）齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞者に対する支援　【公演事業】

２００２年より創設された「齋藤秀雄メモリアル基金賞」では毎年、１名ずつの若手チェリストと指揮者を顕彰しています。この賞の更なる意義を深めるために、この賞を受賞された演奏家達に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。

（3）「国際オーボエコンクール」奨励賞受賞者及び日本人入賞者に対する支援
【公演事業】

１９８５年より３年に１度開催する「国際オーボエコンクール」はこれまで国内外の多くの若手オーボエ奏者にコンクールという形で場を提供してきました。本選に出場した者の中で日本国籍を持つ出場者に与えられる「奨励賞」、その受賞者と本選出場を果たした日本人演奏家に、演奏の場の機会を与えることを目的とした事業です。

4．音楽、オペラ、舞踊等に関する講習会等の開催

（1）セミナーの開催　【一般事業】

世界的にも著名な音楽家・教育者を招いて、セミナーを開催します。
若手育成のための音楽教育プログラムであるとともに、日本の教育者たちにも学べる機会を与えることを目的とします。

【日程及び会場】未定

5.その他、目的を達成するために必要な事業

（1）「MIKIMOTO　日本赤十字社　献血チャリティー・コンサート」の開催
【公演事業】

毎年 2 回開催している本コンサート・シリーズは、1990 年よりスタートし、2010 年には 20 年目を迎えます。コンサートによって得た収益金は日本赤十字社へ寄

付され、献血のための血液を運搬する血液運搬車の購入・整備資金へと充てられるものです。いつでも、どこでも、誰にでも必要なだけの血液が滞り無く届けられるよう、日々の運搬車の整備には細心の注意が払われていますが、現時点では充分な数の運搬車が確保出来ているとはいえない状況です。本コンサートでは、寄付活動を通じて、一般の方が、より献血に対する意識を高めるための広報活動の一端も担っているものです。2010 年度は大阪と東京にて開催を予定しています。

【第 42 回】大阪公演
（詳細未定）
会場：いずみホール
主催：Sony Music Foundation/いずみホール
後援：厚生労働省/日本赤十字社（予定）
協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/御木本製薬株式会社】

【第 43 回】東京公演
ニューイヤー・コンサート
2011 年 1 月 13 日　午後 7 時開演　（午後 6 時 30 分開場）
会場：サントリーホール
ソリスト：前橋汀子（ヴァイオリン）遠藤真理（チェロ）（予定）
演奏：東京都交響楽団（指揮者未定）
主催：Sony Music Foundation
共催：東京都交響楽団
後援：厚生労働省/日本赤十字社（予定）
協賛：ミキモトグループ【株式会社ミキモト/株式会社御木本真珠島/御木本製薬株式会社】

（以上）